

水産庁

プレスリリース

平成21年10月19日
水産庁

2009年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPNII)釧路沖鯨類捕獲調査の結果について

2009年度の第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPNII)の釧路沖鯨類捕獲調査が、10月17日(土曜日)に終了しましたので、その成果概要について報告します。

1. 調査概要

- (1) 調査期間 9月5日(土曜日)～10月17日(土曜日)
- (2) 調査実施主体 (独)水産総合研究センター遠洋水産研究所
- (3) 調査海域 北海道釧路港を中心とした半径50マイル以内の海域
- (4) 調査船 標本採集船4隻
- (5) 調査団体構成 加藤秀弘総括(東京海洋大学教授)
木白俊哉団長((独)水産総合研究センター遠洋水産研究所室長)
他調査員19名、事業員乗組員48名
- (6) 捕獲頭数 ミンククジラ59頭
- (7) 主な発見鯨種 ミンククジラ、ナガスクジラ、ザトウクジラ、シャチ等

2. 調査結果概要

- (1) 昨年同様、海気象が安定せず、調査船が出港できた日は全期日の58.1%(昨年は57.1%)、このうち終日洋上で調査活動が可能であった日は全体の23.3%であった。
- (2) ミンククジラ発見数は106群107頭であった。
- (3) 捕獲頭数の構成は、雄36頭、平均体長6.13m(4.18-8.05)、雌23頭、平均体長5.12m(4.54-7.00)であった。
- (4) 胃内容物については、スケトウダラを補食していた個体が最も多く(24個体、全体の40.7%)、ついで、オキアミ(19個体)、カタクチイワシ(13個体)の順に多かった。また、スルメイカを補食していたものも1個体観察された。
- (5) 胃内容物重量は平均26.86kg(3.72-97.64)であった。

— お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課
担当者: 石川、高屋
代表: 03-3502-8111(内線6724)
ダイヤルイン: 03-3502-2443
FAX: 03-3595-7332

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁